



UBITEQ | AN ORIX COMPANY
UBIQUITOUS TECHNOLOGY

株式会社 ユビテック

〒106-0047東京都港区南麻布3-20-1 Daiwa 麻布テラス3階

TEL:03-5447-6731(代表) FAX:03-5447-6757

<https://www.ubiteq.co.jp>



- N 東京メトロ南北線
- I 都営地下鉄三田線

『白金高輪』駅 4番出口から徒歩9分



- 都営バス都06系統 (渋谷駅前-赤羽橋駅前、新橋駅前)
- 都営バス品97系統 (新宿駅西口-品川駅高輪口)

♀「四ノ橋」バス停前



Passion becomes
 technology
 and creates
 the future.

UBITEQ
UBIQUITOUS TECHNOLOGY

AN ORIX COMPANY

会社案内



私たちについて

Message

IoTとAIのコア技術をお客さまとの対話で “生きたサービス”に転換する

今、世の中では情報のデジタル化が加速し、新しい社会、ライフスタイルが創出されようとしています。しかしながら、産業分野のIoT化やAIによるデータ利活用は、一部の業務効率化の目的にとどまり、企業の経営改善まで昇華させるソリューションに至っていないケースが多くみられます。

このような中、私たちが目指すビジネスは、お客さまの事業パートナーとなり、対話を通じて目標と課題に寄り添い、真に経営改善に活かされるサービスを提供することにあります。お客さまとの対話によって、IoTとAIのコア技術を“生きたサービス”に転換し、新たな社会価値を生み出していくことが私たちコビテックの使命です。

IoT時代の到来を早くから見据え、コビテックは1977年の創業以来、デバイス、センシング、ネットワーク、ソフトウェアのあらゆるIoT要素技術を培ってまいりました。さらに近年では、データ分析におけるAI技術を習得し、独自の解析エンジンの開発も行っています。さまざまなデータを取り、それをつなぎ、さらにため、そしていかすことのできるデータドリブン型のIoTサービスをワンストップで提供していることが私たちの強みです。

2009年には自動車のIoTである「テレマティクスサービス」をスタート、2017年にはリストバンド型端末で現場作業者の熱中症の兆候検知や転倒・転落検知を行う「Work Mate」を、さらに2018年からは製造業のお客さま向けに製品不良の要因特定と品質改善を行う、AI解析エンジンを搭載した「D-COLLECT」を展開し、特に「D-COLLECT」においては製造コスト低減と技術承継のサポートを行っております。いずれも、お客さまの課題にとことん向き合い、経営改善の実現や、大切な経営資源を守り抜いていくためのサービスです。

今後も理念は固く、一方、社会環境やニーズの変化には感受性を高め、私たち自身も勇気と覚悟をもって変化し、常にサービスを向上させていきます。そして、オリックスグループとしての営業基盤を生かし、より多くのお客さまのサステナブルな企業経営に寄り添い、新たな社会基盤の構築にインパクトを与えられる企業へと成長し続けてまいります。



代表取締役社長 大内 雅雄

Masao Ouchi

企業理念

技術と顧客志向

いつでも、どこでも、簡単に。

今や誰もが手軽にネットワークを利用できる社会となりました。

私たちは、そういった便利さを、豊かな暮らしとつなげることが大切だと考えています。

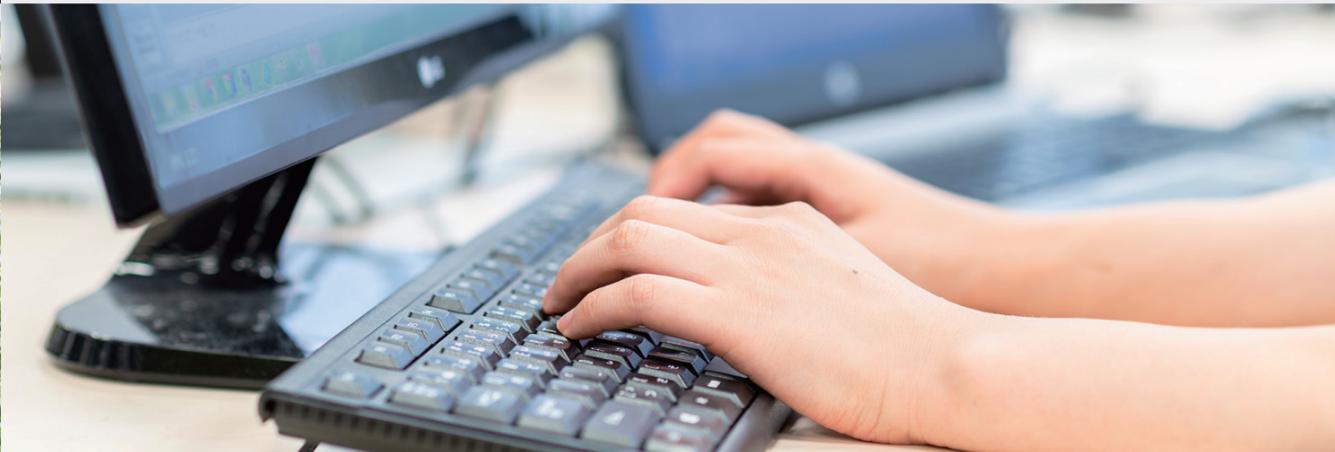
私たちは、技術の力で人々の生活を豊かにできると信じています。

それには、技術への思いだけでは足りません。

私たちは、対話を通じてお客さまや社会が抱える課題を見つけ、

それを技術によって克服することで新たな価値を生み出します。

技術を通じて人々の生活を豊かにする、それが私たちの使命です。



会社概要

名称	株式会社コビテック
設立	1977年11月17日
所在地	〒106-0047 東京都港区南麻布3-20-1 Daiwa麻布テラス 3F
資本金	9億4千万円
従業員数	81名(単体50名)(2020年6月30日現在)
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ スタンダード (証券コード:6662)
主要株主	オリックス株式会社
連結子会社	株式会社コビテックソリューションズ
主要取引銀行	三菱UFJ銀行、みずほ銀行
主な事業内容	・IoTソリューションの開発・提供 ・電子機器の設計、製造、品質保証 ・ソフトウェアの設計、開発、保守 ・クラウドサービスの提供 ・組み込みシステムのセキュリティに関するコンサル ティング

取得認証



・品質マネジメントシステム認証(QMS)
ISO 9001:2015・JIS Q 9001:2015

・環境マネジメントシステム認証(EMS)
ISO 14001:2015・JIS Q 14001:2015



・情報セキュリティマネジメントシステム認証
(ISMS)
ISO/IEC 27001:2013・JIS Q 27001:2014
適用宣言書:Ver.1.0

・ISMSクラウドセキュリティ認証
JIP-ISMS 517 1.0 (ISO/IEC 27017:2015
に基づくISMSクラウドセキュリティ認証)

クラウドサービスプロバイダとして提供する下記のサービス
(SaaS)に係るクラウドセキュリティマネジメントシステム
(1) Work Mate (クラウド型安全衛生見守り支援サービス)
(2) ROOM CONCIER (クラウド型会議室管理サービス)
(3) CanSee (クラウド型ビデオ会議サービス)
適用宣言書:Ver.1.0

History

社会とともに40年。

蓄積された技術力は、その先の「NEXT One」へ。



1977
会社設立

1983
事務用PC
モデル68シリーズ販売開始

1988
PC9800シリーズ用ソフト販売開始

1993
液晶PJ用HD映像エンジン開発

1999
液晶TV用HD
映像エンジン開発

2004
タウ技研(株)から
(株)IRIユビテックへ
と社名変更
松下電工(株)
(現・パナソニック(株))
資本参加

ISO14001・9001
認証同時取得

2002
(株)インターネット
総合研究所の100%
子会社となる

2005
三井物産(株)
資本参加
ATM用
バイOMETRICS
センサユニット
生産開始

2005
大証ヘラクレス市場
(現・東京証券取引所
JASDAQ)に上場
(証券コード:6662)

2007
ベトナムに
UBITEQ SOLUTIONS
VIETNAM, LTD. を設立
オリックス(株)のグループ
会社となる
(株)IRIユビテックから
(株)ユビテックへと社名変更
松下電工(株)
(現・パナソニック(株))と
資本提携

2006
(株)ユビテック
ソリューションズ
(旧(株)日本エンジニア
リングシステム)を
子会社化
次世代インターネット
プロトコル(IPv6)対応
Building exchange (BX)
を製品化

2008
JOYSOUND 移動型
カラオケOEM製造
旅館・ホテルなどで使われる
移動式の通信カラオケ機器
を開発、生産。
オリックス自動車(株)
カーシェアリング用車載機開発
日本で最初のカーシェアリング
会社を設立したオリックス
自動車(株)に向けて、エコドライブ
を意識したカーシェアリング用
車載システムを開発。

2009
オリックス自動車(株)
「テレマティクス」
開発・運用開始
車載機開発・Web開発・
運用まで一貫して提供。
※自動車から走行情報等の提供
を受け車両の管理業務の
効率化、安全運行をサポート
するサービス

2011
ネット型BEMS
「Be Green Mext」
がNEDO
省エネ革新技術
開発事業として
採択

2010
省エネソリューション
ネット型BEMS販売開始

2014
環境省 CO₂排出削減対策強化
誘導型技術開発・実証事業採択
函館・神戸で、電気自動車による
カーシェアの実証実験を3年に
わたり実施。

2016
IoTプラット
フォーム
サービス開始

2013
ビデオ会議システム
「Cansee」販売開始
CanSee
ネット型BEMS
【Be Green Next】が
省エネ大賞センター
会長賞受賞

IPAによる
「自動車の情報セキュリティ」
に関する取り組みに協力

2017
データ分析・解析に
よる価値創造
AI、BIを使ったデータの分析、
解析を行うことでIoT にさら
なる付加価値を提供。
装着式バイタルセンサー
ファームOEM 開発
腕に装着する「MEDITAG」
と、ビーコン・テレマティクス
を組み合わせ、「誰がどこに
いるのか」や「健康状態」など
を把握するシステムをホン
デン(株)と共同開発。



※MEDITAGは、
ホンデン株式会
社の登録商標です。

工場用IoT標準キット販売開始
既存設備に設置するだけで
PLCの情報を自動収集。
収集した情報からチョコ
停時間を顕在化させ、効率化
をサポートする工場向け
ソリューションキットを
販売開始。

2019
D-COLLECT
製品不良改善サービス

製品不良改善サービス
「D-COLLECT」販売開始

ROOM CONCIER
会議室管理サービス

会議室管理サービス
「ROOM CONCIER」
リニューアル

Work Mate
働く人の安全をサポート

働き方改革支援ツール
「Work Mate」販売開始



● ATM用センサユニット開発
紙幣やコインの鑑別センサを
はじめ、カードセンサ、監視
カメラなど、銀行ATM関連の
センサユニットをトータルに
開発・提供。

● デジタルPPC用
スキャナモジュール開発



2000
コークス炉カメラ開発

コークス炉内の損傷状況を
診断するロボットに組み込む
CCDカメラを開発。高温環境
下にも対応し、製鉄所の保守
効率を飛躍的に向上。



2020

5G 活用の共創活動における
建設現場の安全向上に向けた
実証実験を実施

2018

Next Work販売開始
腕に装着する「MEDITAG」
を活用して職場環境を
可視化し、工場、オフィス、
店舗などあらゆる業種の
働き方改革を支援する
ツールを販売開始。

2014

2016
IoTプラット
フォーム
サービス開始

2010
省エネソリューション
ネット型BEMS販売開始

2011
ネット型BEMS
「Be Green Mext」
がNEDO
省エネ革新技術
開発事業として
採択

2009
オリックス自動車(株)
「テレマティクス」
開発・運用開始

2008
JOYSOUND 移動型
カラオケOEM製造

2007
ベトナムに
UBITEQ SOLUTIONS
VIETNAM, LTD. を設立

2006
(株)ユビテック
ソリューションズ

2005
大証ヘラクレス市場

2005
三井物産(株)資本参加

2004
タウ技研(株)から(株)IRIユビテックへと社名変更

2004
松下電工(株)(現・パナソニック(株))資本参加

2003
ビデオ会議システム「Cansee」販売開始

2003
IPAによる「自動車の情報セキュリティ」に関する取り組みに協力

2002
(株)インターネット総合研究所の100%子会社となる

2002
ATM用バイOMETRICSセンサユニット生産開始

2002
三井物産(株)資本参加

2001
ネット型BEMS「Be Green Mext」がNEDO省エネ革新技術開発事業として採択

2001
省エネソリューションネット型BEMS販売開始

2001
環境省CO₂排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業採択

2001
IoTプラットフォームサービス開始

2001
2014

2001
2016

2001
2017

2001
2018

2001
2019

2001
2020

How

とる
つなぐ
ためる
いかす

ユビテックの技術が、IoTの「夢」をカタチに。

あらゆるモノやコトがインターネットとつながる「Internet of Things」時代、私たちが40年以上にわたり研ぎ澄ましてきた技術力が、いま求められています。さまざまなデータを「とり」、それを「つなぐ」、さらに「ため」、そして「いかす」。ユビテックの技術とその連携は、IoTのあらゆる可能性を実現していくチカラを秘めています。お客さまのあらゆる課題に応え、その期待を超えていく。「技術力のユビテック」が、世界中で生まれ続ける夢を、一つ一つカタチにしています。

01 「とる」センシング

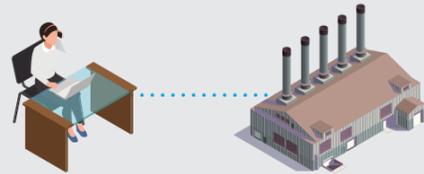
豊富な経験があるからこそ、
どんな「組み合わせ」にも対応できる。



ユビテックのセンシング技術は、デジタル複写機のスキャナユニットの開発からスタートし、官公庁や大手電子機器メーカーと共同研究・共同開発を重ね、長年にわたりお客さまのニーズに応じてきました。製品検査や監視用センサユニット、ATM、カードリーダーなど、高い精度が求められる分野で信頼を獲得しています。

02 「つなぐ」ネットワーク

あらゆる通信方式に精通した技術者と、
豊富な構築実績。



センシング技術により取得したデータを、データベースなどにつなぐネットワーク技術。構築にあたっては、対象物との距離や特性に応じて、最適な方式を選定し、ご提案します。

03 「ためる」プラットフォーム

「ユビテッククラウド」技術で、
確実にデータを守る。



ユビテックでは、独自のクラウドシステム「ユビテッククラウド」を開発・運用しています。ハードウェアからミドルウェア、OS、アプリケーションまで、豊富な技術者構成を活かしてユビテック1社でフルサポート。緊急時には異常をいち早く検知して対応するなど、構築から運用保守まで一貫してお任せいただけます。

04 「いかす」アプリケーション

アプリケーションで、
データを「わたす」「みせる」、そして「いかす」。



蓄積したデータを「いかす」方法は、大きく2つに分けられます。1つは、「わたす」。活用したいデータだけを安全に「わたす」として、API(アプリケーションプログラムインターフェース)があります。2つ目は「みせる」です。代表例としてはテレマティクスで、現在走行中の車のあらゆるデータをリアルタイムに「見える化」し、運行オペレーションに活用しています。今後も、お客さまの課題解決に向けて、データ活用の未来を切り拓いていきます。

技術を基盤に、幅広いサービス展開

データを「とる」「つなぐ」「ためる」「いかす」のユビテックの技術を基盤としながら、お客さまの課題解決に取り組む中で、さまざまな製品・サービスが生まれました。中でも、自動車から走行情報等の提供を受け車両の管理業務の効率化、安全運行をサポートするテレマティクスサービス、工場のIoT活用を担う工場設備リアルタイム監視システムは、少子高齢化、人手不足、技術承継問題など、日本の社会課題を解決に導く、一つの答えになり得ると考えています。これからもユビテックの技術は、イノベーションを生み出す原動力となって、社会に新たな価値を提供し続けます。

ユビテックのIoTソリューション・サービス

ビジネスプラットフォーム

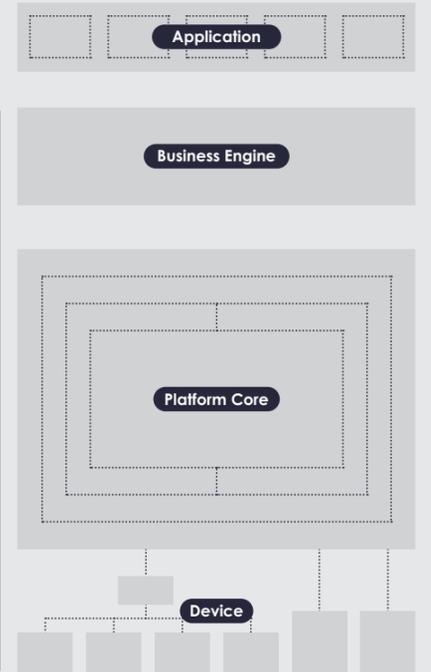
業界ごとのアプリケーションプラットフォームを搭載し、特定用途向けのデバイスと組み合わせて、ビジネスに共通の機能をAPI方式で提供します。それぞれのニーズに応じた機能が容易にアプリケーションに実装できます。また、開発・検証を経た標準デバイスを使用することで、サービスインまでの期間を大幅に短縮します。

IoTプラットフォーム

ユビテックが独自開発したプラットフォームコアとデバイスで構成した、システムの構築を支援するソリューションです。データストア、デバイスとの通信、デバイスの制御、ユーザー管理など、IoTシステムに必要な基本機能を備えます。優れた安定性と高い汎用性で、効率的かつ柔軟な開発環境を提供します。

デバイスコンシェルジュ

対象からの情報を取得するセンシングデバイス、制御するコントロールデバイスや、複数のデバイスを集約してサーバと通信したりプロトコルが異なるデバイスを使用するために必要なゲートウェイなど、IoTシステムに欠かせないデバイスの選定から設置までを行います。既製品に適したものがない場合は、専用のデバイスを設計・量産することも可能です。



ソリューション・サービス例

製造

Manufacturing

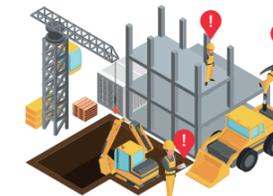
製品不良改善
作業者の安全見守り
製造ライン稼働状況管理



建設

Construction

作業者の健康状態の管理
作業者への危険通知
事故の迅速な検知



自動車

Car

複数車両の運用管理
安全運転や環境配慮のチェック
安全で効率的な運用のアドバイス

